神奈川県保健医療計画　進捗状況評価調書

＜項目＞
第７章　県民の視点に立った安全・安心で質の高い医療体制の整備
第４節 歯科医療機関の役割

とりまとめ担当課：医療課

１　課題に対するこれまでの取組実績

（１）全てのライフステージ

→　健口体操等を通じて地域の歯及び口腔の健康づくりをサポートするオーラルフレイル健口推進員（8020 運動推進員）を養成・育成した。（H30:養成数 62 名）

→　県民の行動目標である「健口かながわ５か条」を普及し、かかりつけ歯科医を持つことへの啓発を行った。（H30:普及者数 延 6,662 名）

→　医療保健福祉関係者を対象とした摂食機能に係る講演会及び障害児者等を対象とした摂食機能支援相談会（実地研修）を開催した。（H30:講演会４回、相談会６回）

(2)在宅歯科医療における役割

→　在宅歯科医療中央連携室(１箇所)、地域連携室（県内 25 箇所）を設置し、歯科医療機関における在宅歯科医療の充実を促進するとともに、在宅歯科診療を必要とする県民を歯科診療の受診に結び付けることによって地域包括ケア体制の整備を図っている。

→　在宅歯科医療中央連携室の研修業務を行い(H30:95 回)、新たに在宅歯科医療を行う歯科医療従事者の増加を図るとともに、在宅歯科医療従事者や介護事業者の質を向上させることにより、在宅歯科医療の供給面から地域包括ケア体制を構築する。

２　参考指標の推移

指標名	単位	神奈川県内					参考指標を設定した理由	備考
		H30	Ｒ１	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４		
医療施設調査	件数	881	881				在宅歯科医療を提供している機関を国が発表している	医療施設調査は３年後との更新(H29 更新)

３　課題ごとの進捗状況の評価

（１）全てのライフステージ

評価	A ・ (B) ・ C ・ D
評価分析	・　県民が生涯にわたり、歯及び口腔の健康を保持・増進できるよう、オーラルフレイル健口推進員（8020 運動推進員）の養成・育成や活動支援、かかりつけ歯科医を持つことを普及啓発した。
評価理由	・　オーラルフレイル健口推進員（8020 運動推進員）の地域における活動回数は年々増加傾向にあり、多くの県民の歯及び口腔の健康づくりに対する関心の高まりにつながっていると考えるため、比較的順調に進捗している。

（２）在宅歯科医療における役割

評価	A ・ (B) ・ C ・ D
評価分析	・　中央・地域連携室の設置以来、県内の歯科医療関係者や介護事業者に対して継続して研修事業を行ってきた成果が出ており、在宅歯科医療を提供する歯科医療機関は増加している。 ・　口腔ケア及び摂食機能の維持・向上に対応できる専門職や、在宅歯科診療で口腔咽頭吸引の対応ができる歯科衛生士の育成を推進した。
評価理由	・　平成 26 年度から在宅医療機関数は順調に増加しているが、急速に進む高齢化とともに、在宅歯科医療のニーズは高まるものと想定される。更なる供給体制の強化を図る必要がある。 ・　歯科衛生士に対する口腔咽頭吸引の研修会は、県内でもほぼ実施されていないことから、多くの歯科衛生士のスキルアップにつながっている。そのため、比較的順調に進捗していると考える。

４　総合評価

評価	評価理由
B	研修事業等による人材育成により、在宅歯科医療の供給体制の底上げは図られているが、急速に進展する高齢化を背景とした在宅医療ニーズへの対応のため、更なる取組みの実施が必要とである。